



『生徒会憲章』の実現を図りながら、

生徒一人一人の自己肯定感を高め、3年計画で自立を促し、未来への志を育む



今年もよろしくお願ひいたします

新しい年を迎え、皆さんにとって令和8年が希望と成長に満ちた一年となることを心よりお祈り申し上げます。普段の何気ない毎日を過ごしていることに感謝しながら、今私たちにできることをしっかり行うことが大切だと感じた年始でした。今年の干支である午年(うまどし)は、十二支の7番目で「馬」を象徴し、活力、行動力、情熱、前進を表す年です。太陽が最も高い位置にある「正午」を意味するため、エネルギーの最盛期であり、新しい挑戦や飛躍、物事が大きく発展するのに良い年とされているそうです。



さて、1月12日に並木まちづくりセンターで「二十歳の集い」が催されます。数年前までは成人式と呼ばれていました。江戸時代までは「成人式」のことを「元服式」といい、元服を行う年齢は時代によって変化はありますが、

13～16歳で14歳前後が多かったようです。つまり、長い日本の歴史の中では、14歳が大人として認められる年齢だったのです。いくつかの理由で14歳という年齢には意味があります。14歳の頃が、心や体が大人への変化をとげる年齢であること。心や体の成長からすると、急におとなびてくるのは14歳くらいということは、昔も今も変わりません。言ってみれば「もう子どもではない」という自覚をもつべき時なのです。成人でなくとも14歳を境に法律の上で、その扱いが大きく変わっています。このことから14歳は『責任年齢』と呼ばれます。14歳になることで何を考えたらよいか。自分の「身体」がどれくらい大人になっているか。自分の「心」がどれくらい大人になっているか。体が成長した分、心や考え方も大人になってきているのでしょうか。具体的に①「自分」のことも同様、「相手」のことも思いやれること。②「正しい」と思えることを実行しようとする意志をもつこと。③「正しくない」と思えることは、自分がやりたいことでも我慢しようとする。物事を広く、長い目で見る視野を持つこと等です。自分は将来、どのような希望・目標を持って生きていくのか。そのために今をどう生きたらよいか。これこそが「志を立てる(立志)」の本来の目的です。「立志」とは、自分の将来の目標に対する積極的な心構え(志)を「立てる」ということです。進路の選択を数か月後から数年後にひかえた今、しっかりとした目標を持ってください。そして少しでも日常生活を向上させていってください。「立志」がこれからの自分の生き方を考えるきっかけになってほしいと思います。この3学期もいろいろと学べるチャンスがあります。新年を迎えリセットして登校している皆さん、新たなスタートです。保護者の皆様におかれましては、旧年中は大変お世話になりました。どうぞ、本年も中央中学校の発展のためにご理解ご協力をお願い申し上げます。

1月の主な行事予定

1月19日 生徒会朝会

20日 ステップアップテスト(1・2年生)

21日 職場体験(1年生)【～23日まで】

22・23日 私立高校受験日(3年生)

26日 現場実習(6組)【～30日まで】

27日 県公立高校インターネット出願(3年生)

3年生ラスト、ファイト!!